

住みよいまちづくり情報誌

Vol.41

平成28年3月26日

発行 住みよいまちづくり新莊会  
 (水戸市新莊市民センター内)  
 (〒310-0036) 水戸市新莊2-11-2  
 Tel.029-221-7851

責任者 住みよいまちづくり新莊会  
 会長 川又 一郎

編集 新莊会広報部  
 印刷 常磐総合印刷株式会社  
 題字・坂 俊治

# ときめき新莊

<b>新莊学区の常住人口</b>	世帯数 3,030	<b>年齢別人口</b>	0 ~ 14才 535 ( 8.8%)	15 ~ 64才 3,520 (57.9%)
男 2,886 女 3,194 合計 6,080	(平成28年3月1日現在)		65 才以上2,025 (33.3%)	(平成28年3月1日現在)



固唾をのんで見守る抽選

特に、模擬店では焼きそば販売にエコクラブの子供たちが初めて参加したほか、バザーの女性の会及び豚汁販売の食生活改善推進員は今年度も売上金を社会福祉協議会新莊支部に寄贈されました。

また、最後の抽選会では沢山の豪華商品が用意され、会場が大変盛り上がりしました。

参加者は、朝から夕刻まで十分に楽しみ、交流を深めたことと思います。



エコクラブ参加の模擬店焼そば販売

**抽選会で豪華賞品**

三月六日(日)、新莊市民センターにおいて「新莊ふれあいまつり」が開催され、幸いにも雨の予報が外れ温かい曇天のなか、延八百人の地域の皆様に参加しました。

ホールにおいて利用団体による十五の発表会が行われ、小会議室では指圧体験教室、和室では石州・裏千家茶道、市民サロンではバザー、調理室では豚汁販売、駐車場では七つの模擬店の販売が行われました。

## 新莊ふれあいまつり



奥田俊亮さん 永年勤続町内会長ほう賞

- ◎永年勤続町内会長・自治会長ほう賞
- ・四十五年勤続 奥田 俊亮(元山町二区北)
- ・二十年勤続 湊 弘一郎(馬口労町三丁目)
- ・十五年勤続 青木 實(常盤町二丁目13)
- 宮下 明生(緑町東部)
- 根本 憲一(大工町中央親和会)
- ・十年勤続 神尾 和子(馬口労町一丁目)
- 菊池 久枝(砂久保市営AP)
- 島田 秀穂(寿町二区)

## 第20回 水戸市民の集い 交通安全市民大会開催

二月二十八日(日)、県民文化センター小ホールにおいて行われた水戸市民の集いで、次の方々が永年勤続町内会長・自治会長ほう賞を受賞されました。

# 新莊ふれあいまつり

## 発表会等の一部紹介



プチハモ 演奏と歌唱



コーラスAクラブ 合唱



踏愛会・ウィング ダンススポーツ



井中庵 マジック



フォークダンスクラブ



童謡クラブ 合唱



和宝会 仕舞・連吟



はまゆう会 民舞



邦楽研究会 琴と尺八による演奏



バザー



指圧体験教室



裏千家茶道 茶会



新莊地区住民と行政側との意見交換

八月二十九日(土)午後、新莊市民センターホールにおいて、新莊地区の市民懇談会が実施されました。この市民懇談会は四年に一度開催されるものです。

本懇談会は、市役所からは市長、市議会議員及び市執行部役員・事務局員、新莊地区住民からは新莊会、町内会及び社協、高齢者クラブ、女性の会、民生委員など計七十四名が参加されました。

今回は「新莊地区の環境整備」をテーマとして、市長等のご講話を頂いたのち、川又新莊会々長を議長として、市民側と市役所行政側との活発な意見交換会が実施され、大変有意義に市民懇談会を終えました。

平成二十七年  
新莊地区市民懇談会

### 新莊小学校防災訓練

十一月十六日(月)、新莊小学校児童の防災訓練がアリーナ(体育館)及び校舎前において実施されました。

特に、炊き出し体験実習は、昨年に続き新莊会、新莊地区女性の会が支援しての2回目の訓練となりました。アリーナで全員を八つのグループに分け、グループ作業により協力して炊飯袋米をつくり、作業も女性の会の指導のもと高学年が低学年の手伝いをするなど、昨年より進んだ訓練を行うことができました。できあがった炊飯袋米は、校舎前の炊飯釜で新莊会等が蒸し上げました。



グループ毎の炊飯袋米作り

### 応急給水器具操作訓練

今回の防災訓練後、新莊地区住民を対象に、新莊小学校の受水槽において、これを活用した応急給水器具操作訓練を初めて行いました。

この操作訓練は、地震等により家庭が断水した場合、この受水槽から速やかに飲料水を確保するためのものですが、今回の訓練によりその方法を習得し、緊急時に備え安心して活用することができるようになると思っています。



応急給水器具操作訓練

### 三世代交流 保和苑清掃

### 三世代交流 保和苑清掃



九月二十日(日)、高齢者・子供会合同による保和苑の清掃が昨年同様実施され、昨年より約二割多い七十三人が参加されました。

### 防災研修会

### いわき市「浜かせ商店街」を訪ねて

二月四日(木)、3・11大震災から五年が経過するいわき市久之浜仮設商店街を訪れました。小学校の校庭の一角にプレハブでオープンした九店舗の皆様が、笑顔で私たちを迎えていただきました。

震災後の復興現状視察と支援をも目的に訪問した浜風商店街のお母さんたちは、私たちが温かいコーヒーでもてなし。情報館では被災状況を説明していただき、など、復興に向けて頑張っている様子に、こちらが元気をいただきました。



浜かせ商店街

### 新莊地区福祉講演会

### 演題

### 「成年後見制度について」

二月十七日(水)市民センターホールにおいて、老後の安心のために、成年後見制度について講演会が開催されました。

講師は、第一東京弁護士会の安彦和子弁護士で、これまでに取り扱った事例などを取り入れ、分かり易く制度のお話をして頂きました。老後、判断能力が不十分な人のくらしを守るため、「財産」や「権利」を保護し支援していく制度です。老後の不安を一人で悩ま



講師 安彦和子 弁護士

### 歩く会「ロマンチックゾーン」

十一月八日(日)、新莊地区歩く会が小雨のなか、名所旧跡「水戸のロマンチックゾーン」において行われました。

参加者は、救護車・昼食などの支援者を含め九十八人で、雨天にもかかわらず前年とほぼ同数でした。

コースは、九時前に新莊市民センターを出発し、祇園寺、水戸八幡宮、愛宕山古墳、常磐共有墓地・回天館・保和苑等の順に歩きました。紅葉、歴史に触れるとともに、途中、強雨・急坂がありました。励まし助け合いながら落伍者もなく、全員歩くことが出来ました。



曝井(さらしい)より愛宕山古墳へ

市民センター到着後は、温かいカレーライスを頂き、冷えて疲れた体を十分癒やすことができました。距離は約三・八km、時間は速歩により二時間余り、歩数は女性の測定で約一万一千歩でした。

# 東日本大震災から五年、次なる震災に備えましょう！

二〇一一年三月十一日午後発生したあの恐ろしい地震から、五年が経過しました。

その後も、首都直下地震・南海トラフ大地震などの発生が想定されております。

現時点では水戸の大地震発生確率七十%(三十年以内)と言われています。これは、明日発生してもおかしくない確率だそうです。

先の地震で水戸の死亡者は二人です。一人はカンパンの落下物にあたり、もう一人は本棚の下敷きとなりました。まず大切なことは、

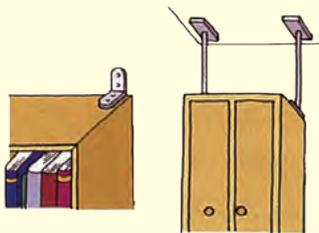


災害用品の準備

「自分の命を守る」ことです。

◎就寝場所Ⅱタンスなどが倒れて下敷きにならないか。

◎居間Ⅱ本棚、サイドボード、タンス類などの下敷きにならないか。直ちに点検し、災害に備えましょう。



タンス・本棚などの固定



F Mはるるん(76.2MHz)を選局すると、水戸市からの情報が入手できます。

災害情報入手手段の確保

## 新莊地区敬老会



九月二十一日(月)、新莊地区敬老会が快晴の下、新莊市民センターにおいて行われました。(新莊小学校体育館が耐震工事のため)

招待者一三五人のうち四一二人の方が参加されました。式典では市長はじめご来賓の方々に挨拶を頂き、アトラクションでは、バンド演奏・コーラス等で、会場が大変盛り上がり、楽しく終了いたしました。

なお、今回新莊市民セン

## 新莊スポレク部主催 ユニカール大会で和気あいあい

二月十四日(日)、春一番が吹き気温も二十三度、時々雨が降るなか、市民センターホールに四十二人が参集し、十三チームが和気あいあいゲームを楽しみました。

【結果】  
◎優勝 龍崎・飛田・竹貫チーム

◎準優勝 山部・大和田・埴チーム

◎第三位 川又一郎・井上・阿野チーム



13チームによるトーナメント実施



バンド演奏で盛りあがった参加者の皆さん

ターで十分機能を果たし好評であったことから、今年の敬老会も同市民センターで九月十九日(月)の開催を予定しております。

## 「コミュニティルーム」の開設

平成二十七年十二月より、新莊地区住民が交流するためのコミュニティルームが、新莊市民センター図書室の奥半分の区画に開設されました。

この部屋は、住みよいまちづくり新莊会・各部・委員会及び各町内会のほか、十三の関係各種団体及び下部組織の者が、会議・打ち合わせ等を行う場合に事前申し込みせず使用できます。定員は十二人(最大十六人)です。

市民センターが今まで以上に皆様に気軽に活用され親しまれることを願っております。使用の際はお気軽に事務室の職員に声をかけて下さい。



コミュニティルーム

## 編集部委員

- 田口 允彦・中野 昌子
- 塩井 雅子・川又 健志